

令和6年度 3月の補導活動

佐久市少年センター

| | |
|-------------|------|
| 1 街頭補導実施回数 | 17回 |
| 2 延べ従事補導委員数 | 75人 |
| 3 相談件数 | 0件 |
| 4 補導した少年数 | 0人 |
| 5 声かけ人数 | 319人 |



3月の活動日誌から

3月3日(月)

15班(S・N) 記

巡回経路 中込駅 → 佐久城山児童館 → 成知公園 → 大型ディスカウントストア
活動の様子

朝降っていた雨が雪になり、この冬一番の大雪となった。巡回に出るころには雪はやんでいたが、寒い日であった。佐久城山児童館に向かう途中で、数人がまとまって下校する児童を見かけたが、歩道に寄せられた雪で、歩きにくそうであった。児童館では、久しぶりに積もった雪の庭で遊んだり、雪かきの手伝いをしたりする児童がいる一方、館内では、いつものように大勢の児童が楽しく過ごしていた。大型ディスカウントストアでは、雪のためか来店客は少なめであった。店の奥には、成人向けコーナーが設置されていたが、暖簾で仕切られており、店側の配慮が感じられた。それでも、多くの子どもたちが来店する店であることを考えると、多少の不安は否めないのも事実である。今回をもって、私たち4人の補導委員は退任となりますが、専門補導委員の皆さんには、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

3月4日(火)

7・8班(S・H) 記

巡回経路 大型スーパー → 佐久平駅前交番
活動の様子

寒波が押し寄せ、さらに強風が吹きすさぶ中での街頭補導活動日となった。そんなことから、公園には子どもが来園している可能性が低いと考え、天候に左右されず、子どもが集まる大型スーパー内のフードコートやゲームコーナーを重点に活動を行った。悪天候の影響か、大型スーパー内は普段よりも人出が少ないように感じた。フードコートでは、多くの中・高校生が勉強をしていた。ゲームコーナーにも保護者と一緒に来たと思われる少年の姿もあったが、問題点は見受けられなかった。佐久平駅前交番に立ち寄った。対応して下さった警察官から「深夜のバイク騒音、未成年者の喫煙事案、周辺市町村から若者が深夜に集まることもある」と伺った。さらに、「補導活動の時だけでなく、また、青少年だけではなく、問題行動を見たり聞いたりした時には、遠慮せずに警察へ連絡していただきたい」とのお話があり、心強く感じた。

3月5日(水)

12班(A・M) 記

巡回経路 生涯学習センター → 原公園 → 城山公園 → 中央図書館
活動の様子

先週末に降った雪が道路の端に寄せられ積みあがって残る中、今日は、雨中の巡回となった。集合場所の生涯学習センターでは、近隣の小中学生と市内3つの高校から来ている生徒ら14、5人がそれぞれ話しをしたり、カードゲームを楽しんだり、勉強したりしていた。勉強する者の1人は、進級のため課題を提出する必要があるとのことだった。ガンバレ!! 公園を巡回してみた。原公園は、園内が雪に覆われており、人の入り込んだ気配はなかった。城山公園に行くと、女子中学生2名が腰の高さを超える雪だるまを作っていた。2人で相談して挑戦してみたようだ。中央図書館では、児童・生徒の姿は見られず、子ども連れや各々で読書を楽しむ人が多かった。

3月6日(木)

19班(O・M) 記

巡回経路 望月バスターミナル → 善郷寺団地内公園 → 協和駐在所
→ 望月児童館 → 望月支所

活動の様子

前日降った雪が道路わきに残る曇りの日、春日方面から巡回を始めた。善郷寺団地内公園には残雪が多く残っていたが人影なし。雪だるまつくりなど雪遊びをした様子もなく、子どもが来ていることを感じ取ることができなかった。望月バスターミナルから見回りを始めた時間帯は、児童の下校時間前のように子どもたちの姿はみられなかった。望月小学校に近づいたあたりから下校時刻となったようで、子どもたちは大小様々な荷物を持って家に向かう姿が見られた。終業式までにまだ日数はあるが、今から少しずつ持って帰るようにみえた。協和駐在所の前でお巡りさんと話しをすると、「今月20日をもって当駐在所は閉所となる」とのことだった。残念な話ではあるが、時代の流れで仕方ないと感じた。今後、地域に支障がないことを祈る。望月小学校前の横断歩道では、先生方が旗を持って児童の下校を見守っていた。忙しい中を下校にあわせ外に立って子どもたちを見ていてくれるのだと思い、ありがたく感じた。このような学校が地域にあることがとても嬉しく、これなら子どもたちも安心だと思った。望月児童館では、この日利用している児童数は73名。問題もない様子である。ここに来ると、子どもたちが元気いっぱい遊んでいて、見ていて楽しい。こちらでも元気をもらえて嬉しい。

3月7日(金)

1班(専門補導委員) 記

巡回経路 紅雲台団地内公園 → 大型スーパー → 東児童館
→ 旧志賀小学校 → 駒場北公園 → 宇とう公園

活動の様子

冬ごもりの虫たちも這い出す時節(啓蟄;けいちつ)となり、そろそろ陽光をあびてからだを動かしたくなる。とはいえ、今日は先日の大雪がいくらか残り風が冷たい。東地区の団地内にある公園を巡回して、大型スーパーに向かうが、時間が早いせいもあり、子どもの姿はない。東児童館を訪れると、玄関のガラス窓に、花をかたどった美しい飾りが掲示されていた。館の職員さんが制作してくれたものだろうか。明るく迎えてくれた1年生の児童は、けん

玉をじょうずに扱っていた。玉を振り上げ、みごとけん先に入れて見せてくれた。「すごいね」とほめてやると、にっこり微笑んだ。当日は、1年生を中心に20名ほどの児童が、親の迎えを待って過ごしていた。東小学校前にさしかかると、黄色いヘルメットをかぶった児童たちが、歩道に残る名残雪をよけながら帰路を急いでいた。車のスピードを落とし、子どもたちのようすを見守った。



3月10日（月）

9班（U・T） 記

巡回経路 生涯学習センター → 東田公園 → 中嶋公園 → 原公園 → 城山公園 → 成知公園 → 佐太夫町公園 → 中込駅 → 横町公園

活動の様子

生涯学習センターは、多くの来館者でにぎわっていた。中学生に声をかけると、明日は高校入試で、最後のチェックをしているとのことだった。「頑張っ」と話すと、「はい」と答えてくれた。原公園で遊んでいた小学3年生6人に話しかけると、30代くらいの男の人に、スマホで写真を撮られた可能性がある」と訴えた。車種や車のナンバーもしっかり覚えており感心したが、小学校で担任の先生にも報告するように伝えた。何か所か他の公園も巡回したが、成知公園のほかには子どもの姿はなかった。中込駅では、歩道に多くの駐輪違反の自転車が見られた。今回の街頭補導活動で、2年間の活動は終わりますが、専門補導委員の皆さん、一緒に巡回していただいた皆さん、お世話になりました。

3月11日（火）

13班（専門補導委員）

巡回経路 大型スーパー → 佐久平駅前交番 → 大型スーパー

活動の様子

集合場所に集まった際、補導委員の1名が「体調はすぐれないが、任期最後の街頭補導なので出てきました」とおっしゃり、この言葉に私は胸が熱くなりました。城山公園内の四阿（あずまや）では、数人の男子児童が、ゲーム機で遊んでいました。原公園では、しとしとと降る春雨のせいか誰もいませんでした。生涯学習センターの学習室では10数名が物音を立てず、静かに学習をしていました。1階のつどいの広場では、ゲームに興じる児童やテーブルを囲み談笑している高校生らがたくさんいました。そのうちの1組の女生徒に声かけをしました。1人は、中学3年生、もう一人は高校1年生とのことでした。二人は、中学時代の先輩後輩で、お互いに陸上競技をやっているとのことでした。競技は『投擲』と『跳躍』と異なるようですが、2人は競技の目標や将来の夢について笑顔で話してくれ、とてもすがすがしい気持ちにさせてもらいました。街頭補導終了後、帰庁に向かう途中で様々な制服をしたたくさんの生徒が歩いているのが目に入りました。高校の入学試験を終えた生徒のようで、多くの生徒がほっとしたかのように笑みを浮かべていました。高校に入ったら、先ほど出会った女子生徒のように、それぞれ目標や夢の実現に向かって頑張りたいと思いました。

3月13日(木)

16班(T・Y) 記

巡回経路 あいとびあ → 田口児童館 → 青沼児童館 → 稲荷山公園
→ 下の宮公園

活動の様子

今回はたくさん子どもたちと接することができた。授業が早めに終了したことが大きい。田口児童館は、たくさん子どもたちがそれぞれグループを作り遊んでいた。若い厚生員の方が頑張られていた。来年度、さやか星小学校に入学する児童が多いとのことで、青沼児童館は賑やかになりそうだ。稲荷山公園では、高学年の児童20名ほどが野球やサッカー等をして遊んでおり、たいへん活気があった。一方、いつも児童が遊んでいる下の宮公園は誰もいなかった。



3月17日(月)

10班(M・E) 記

巡回経路 生涯学習センター → 原公園 → 城山公園 → 泉児童館
→ 泉野団地内公園 → 岸野児童館

活動の様子

生涯学習センターには、多くの小学生が訪れていました。臼田小学校の卒業式を終えたばかりの児童、保護者が大会議室を利用していました。原公園では、7名の男女児童が元気に遊んでいました。城山公園には卒業式を明日に控えた13名の児童が、ゲームをしたり、漫画を読んだりして楽しそうに過ごしていました。泉児童館は、44名の児童が利用しており、庭ではサッカー、遊戯室ではドッジボールをしていました。また、トランプやチェスを楽しむ子どもたちもいました。泉野公園では、4名の子どもがボール遊びをしていました。近くで、母親がようすを見守っていました。岸野児童館は、春休みに入った20名ほどの児童が利用していました。ゲームやブロック遊びをする子に交じって、真剣に春休みの宿題帳に取り組む子どももいて、穏やかな雰囲気が感じられました。



3月19日(水)

14班(K・K) 記

巡回経路 中込駅 → カラオケ店 → 成知公園 → 学童保育

活動の様子

中込駅に集合し、駅前のロータリーに出ると歩道に自転車が止めている中学生が4名いたため注意しました。午前中は雪が降っており、とても寒い日だったため、公園には人があまりいないだろうと思い、カラオケ店に行きました。部屋は満席で空室待ちの高校生がいました。成知公園では、中学生と高校生がバレーボールの練習をしており、子どもに寒さは関係ないと思いました。次に、

学童保育に行きました。補導委員の顔を覚えていてくれたのか、私たちが外から室内を覗くと子どもたちは喜び、食べているお菓子を見せてくれました。中に入ると甘いにおいが立ち込めていました。今日のおやつは豆腐ドーナツでした。26人の児童がおいしそうに食べていました。おいしいおやつを提供してくれる職員さんに聞くと、昨日は小学校の卒業式なので、お赤飯を出して祝ったそうです。手作り料理屋でお祝いしてもらう家庭的な学童保育は、子どもたちにとって、とてもありがたい居場所だと感じました。部屋の奥では、学童保育で行う「卒業旅行」のしおりをパソコンで入力している児童がいました。「卒業旅行」は、5,6年生の4名が1泊2日で東京に行くとのこと。子どもたちの楽しそうな姿が目につきました。



「卒業旅行」は、5,6年生の4名が1泊2日で東京に行くとのこと。子どもたちの楽しそうな姿が目につきました。

3月21日(金)

3班(I・S) 記

巡回経路 大型スーパー(フードコート、ゲームコーナー) → 若宮公園
→ ねむのき公園

活動の様子

大型スーパーは、大勢の買い物客でにぎわっていました。フードコートは、学生や来店客で席がいっぱいになるほど混雑していました。ゲームコーナーでは、大勢の親子連れや若者のグループがゲームを楽しんでいました。店員さんに話をうかがうと、「春休みに入って客足は伸びているが、トラブルは発生していない」とのことでした。若宮公園では、4名の小学生が、サッカーやキャッチボールを楽しんでいました。「今日は天気がいいので、友達を誘って遊びに来た」と答えてくれました。しばらくして、中学生4人が、公園を訪れたので話を聞くと、「後期選抜の発表があって、合格しました」と、うれしそうに答えてくれました。ねむのき公園を巡回すると、乳母車に子どもを乗せた2組の親子が会話をしていましたが、児童、生徒の姿はありませんでした。本年度最後の巡回も無事終わることができました。お世話になった関係者の皆様、ほんとうにありがとうございました。

3月24日(月)

17班(S・Y) 記

巡回経路 臼田交番 → 下の宮公園
→ 大型スーパー(フードコート、ゲームコーナー)

活動の様子

彼岸も過ぎ、ここ数日、春が感じられる日が続いている。本日は少々風があり、やや気温が下がっている。小・中・高では、いずれもそろそろ卒業式を終え、子どもたちの動きも活発になってきている。下の宮公園では、望月から来たという兄弟が、バレーボールを楽しんでいた。明るく会話を交わしたが、礼儀正しい受け答えに感心した。続いて、足を伸ばし訪れた大型スーパーのゲームコーナーでは、やはり中高生が仲間とともに過ごす姿が見られた。特にトラブルもなく、各々のペースで春休みを過ごしているといった印象であった。幼

児や小学生は、親や祖父母が付き添い、安全にゲームを楽しむようすがうかがえた。

3月25日（火）

5班（I・T） 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 紅雲台団地内公園 → 大型スーパー
→ 駄菓子店 → 東児童館

活動の様子

昨日、東京ではソメイヨシノの開花宣言が発表された。長野県はまだまだであるが、本日は気温が 22℃と、とても暑い日となった。大型ゲームセンターで中学3年生に声をかけた。4月から高校生とのことで、エールを送った。次に、寄付で運営されている駄菓子店に行った。3名の子どもが自転車で来ていた。今日は、春休みのため、いつもよりも多い 27 名の子どもが来たとのことであった。新しい年度になるので、楽しい1年になることを祈り、巡回活動を終了した。

3月26日（水）

4班（K・M） 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → 佐久平交流センター
→ ミレニアムパーク → 佐久平駅前交番 → 大型スーパー

活動の様子

まもなく新年度が始まるが、卒業式を終えたばかりの高校3年生にとって、新生活スタート前の一番時間の融通が利く時である。このような季節柄か多くの高校生らに行き会うことができた。特に、大型スーパーの2階には、楽しく友人と語り合う生徒が大勢おり、フードコートは満席であった。市民交流ひろばの「つどいのひろば」では混雑するほどの賑わいで、特に、大型遊具では順番待ちする子どもでとても賑わっていた。佐久平交番に立ち寄り、このほど着任された交番所長から犯罪情勢などを伺った。佐久平駅構内は、帰宅時間と重なったことから、小海線通路は、混雑するも自然体の流れであった。

3月27日（木）

18班（Y・K） 記

巡回経路 浅科支所 → 浅科警察官駐在所 → あさしな児童館
→ 浅科図書館 → 五郎兵衛記念館 → 浅科支所

活動の様子

なんと、今日の最高気温は 27.6℃、真夏日目前。まずは、浅科地区の中津・八幡の2つの駐在所が統合し、過日供用開始した「浅科警察官駐在所」を訪問しました。建物は、県内産のカラマツが多く使われ、この香りが心地よく感じられました。駐在所内には、住民の立ち寄れるコミュニティルームも設けられており、説明してくださった所員は「地域との交流の場として利用してほしい」とおっしゃっていました。あさしな児童館では、学校が春休み中で、朝から45名の児童が昼食を持参し、ところ狭しと飛び回っていました。あさしな図書館では、中学校を卒業し、この4月から高校生になる数名が、進学先の



学校からの課題に取り組んでいました。新しい世界でのびのび楽しんでください。浅科地区補導委員3名は、何事もなく、2年間22回の街頭補導活動が終了しました。ありがとうございました。

3月28日(金)

6班(K・I) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 駄菓子店 → 大型スーパー
→ 鼻顔公園

活動の様子

日中の暖かさと違い、午後は少し肌寒さを感じる中で街頭補導活動をスタートしました。大型ゲームセンターでは、春休みのため、家族連れの姿が目立ち、普段より多くの人たちが楽しんでいました。ゲームをしていた3人連れの男子高校生に声かけをしました。3人は、この3月に高校を卒業したばかりとのことで、1人は県外、2人は県内の大学に進学することなどを嬉しそうに話してくれました。その後、少し離れた駄菓子店へ向かいました。店主さんが快く話してくれました。このお店は、大人の寄付で子どもたちに駄菓子を提供し、駄菓子をいただいた子どもは寄付をしてくれた方にお礼の手紙を書き、大人と子どものふれあいの輪を大切にしていました。訪問した時は、子どもの姿はありませんでしたが、午前中には数人が楽しんでいたとのことでした。昔を感じさせる店内では、簡単な食事、飲み物も提供し、近くの大人も利用しているとのこと、楽しさを感じるお店でした。大型スーパーのフードコートには、数人の大人がいましたが、子どもの姿はありませんでした。最後に訪れた鼻顔公園では、3歳、5歳くらいの2名のお子さんがお母さんと楽しそうに遊んでおり、清々しさを感じました。

3月31日(月)

11班(S・K) 記

巡回経路 生涯学習センター → 原公園 → 城山公園 → レンタルビデオ店
→ 大型ディスカウント店

活動の様子

年度末の31日、最後の巡回活動となりました。午後から曇り空となり、風が吹き、真冬のような寒さを感じていたのですが、その後、小雨から小雪が舞う天気となりました。つい先ごろ完成した生涯学習センターの駐車場に初めて車を駐車しました。生涯学習センター2階の学習室では、13名の生徒が真剣に勉強しており、



、室外のテーブルでも3名の高校生が勉強中でした。「頑張って」と声をかけると、明るくうなずいてくれました。この天候のせいか、新年度直前ということなのか、原公園、城山公園には、誰もいませんでした。レンタルビデオ店に小中学生が来店しているようすはありませんでした。大型ディスカウント店でも、子どもだけで買い物をする姿はありませんでした。明日

から新年度となります。誰にとっても良い年度であってほしいと思います。

3月の活動を終えて 専門補導委員 (S・H 記)

☆ MY - K ・ ト ラ - L I F E

4月に入っても寒い日が続いた。雪の中、大切な人のために若菜をつむゆかしき人の姿を想像してみた。……それでも春の陽にさそわれて、野に出る人たちの姿を見かける。例年のごとく、植物が芽吹き、活力に満ちた季節がまた始まる。

軽トラの車検が近づいた。今年の4月1日から、車検制度が改正され、車検を受けられる期間が「有効期間満了日の1か月前から満了日までの間」となっていたものが、「有効期間満了日の2か月前から満了日までの間」となった。車検の基本料金が値上げされるという情報もあり、6月末が車検満了日だが、早めに車検予約をすることにした。

軽トラは我が家で最も活躍している乗り物である。その用途は、買い物、農作業、通勤、その他ちよい乗り。また、軽トラのメリットを挙げても、「汚れた荷物でも気にせず、たくさん積める」、「小回りがきいて、悪路にも強い」、「維持費が安く、けっこうタフで故障が少ない」など、実用性、経済性の面でその右に出るクルマはなく、生活の必需品となっている。

そんな日本の軽トラは、米国で驚くほどの人気ぶりだという。日本独自の規格である軽自動車を米国内に輸入することは難しいのだが、製造から25年以上経過した車両は、右ハンドルの車でも米国内に輸入できる「25年ルール」という法律がある。そのため、販売されている車両は、非常に古い軽トラばかりだが、人気は高く、販売台数も大きくその数を増しているということだ。日本の風土に根ざした軽トラが、海外で高く評価されているのはうれしいが、スバルやホンダといったメーカーが、軽トラの生産を終了してしまったことは、なんとも悲しい。それでも最近、黒、オレンジ色、水色など、これまで見たこともないおしゃれなボディーカラーの軽トラを見かけるようになった。また、キャンプ仕様、ケータリングカー仕様などの軽トラカスタムが注目されるようになってきていることを思うと、軽トラの需要はつきないし、その魅力がさらに多くのドライバーに認知されることを心から願っている。

軽トラの魅力に目覚めたのは、30年近く前のことである。お世話になっていた修理工場の軒先に置いてあった中古の軽トラを値段交渉の末20万円で購入した。あまり期待していなかった軽トラだったが、これは楽しい。久しぶりのマニュアルトランスミッションは新鮮で、非力なエンジン性能や乗り心地の悪さもまったく気にならない。ただ、難を言えば、パワーステアリングとエアコンが未装備であることだった。真夏の殺人的な車内の暑さや、低速時の重いハンドル操作には閉口した。

そんなこともあって、2011年に新しい軽トラを購入することにしたのだが……。その年の東日本大震災は、さまざまな経済活動に大きな影響をもたらした。契約した車両がなかなか納車されない。ディーラーに問い合わせても納車時期は未定との返事。やっと我が家に軽トラが届けられたのは、7月にはいつてからのことであった。

それ以来14年もの間、大きな故障もなく、走り続けてくれた軽トラである。小さなすりキズや、下回りの錆は気になるが、パワーステアリングとエアコンが装備された軽トラに何一つ不満はない。オドメーターはそろそろ9万キロに達しようとしている。5月の車検に備え、エンジンオイルとフィルターを交換した。バッテリー、ワイパーも新しいものに替えて、そうそう、久しぶりに洗車をして車検を迎えたい。運転席に乗り込んでハンドルを握る。「まだまだ現役、若い者には負けん!」。そんなつぶやきが聞こえてきそうだ。軽トラ最高!

令和6年度の補導活動が終了しました。この間、街頭補導活動・環境浄化活動・啓発活動等に関わっていただいた補導委員の皆様には心より感謝申し上げます。

酷暑、極寒の気象下で、大変困難な活動もありましたが、皆様の献身的なご協力により、青少年健全育成の目標達成に大きく近づく有意義な活動ができたと確信しております。

皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます、お礼の挨拶とします。